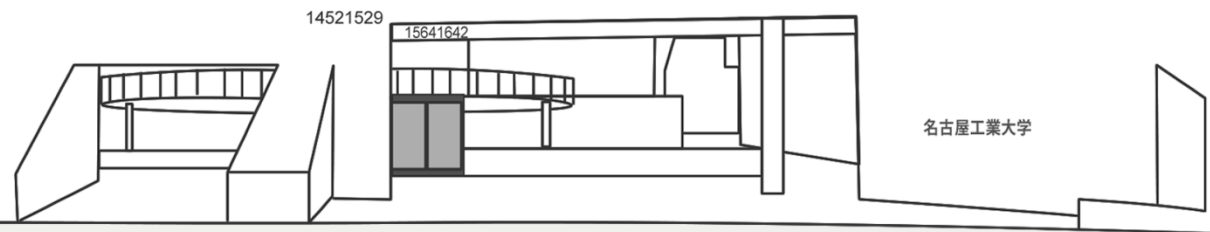
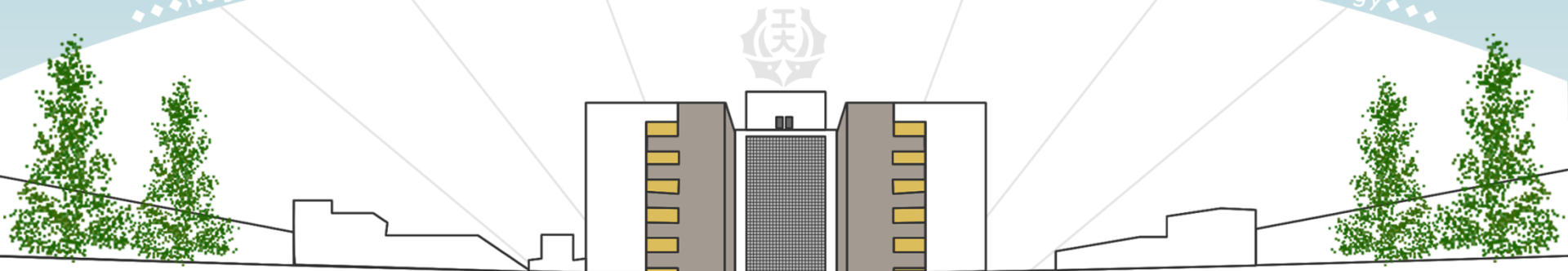


平成26年度「産学連携評価モデル・ 拠点モデル実証事業」

企業向けのアンケート調査結果
(平成27年2月23日現在)

◆◆Nagoya Institute of Technology◆◆ものづくり◆ひとづくり◆未来づくり◆Nagoya Institute of Technology◆◆



名古屋工業大学

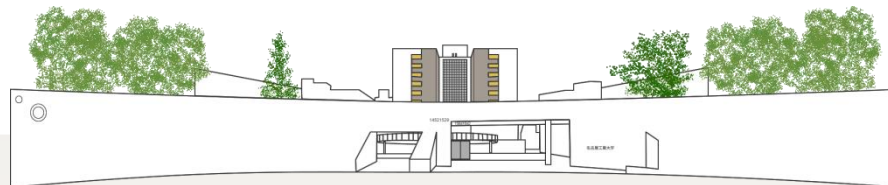
名古屋工業大学との産学連携に関する アンケート調査結果

— 平成27年2月23日時点 —

名古屋工業大学研究協力会の会員企業247社に対し、名古屋工業大学との産学連携の状況についてアンケート調査を実施したところ、116機関から回答を得ている。

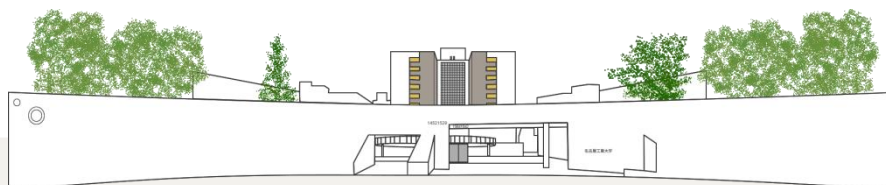
	送付数	回答数	回収率
大企業	/	56	/
中小企業		59	
公益財団法人		1	
計	247	116	47.0%

(注) 現在、集計中であるため、見直しがある可能性があります。

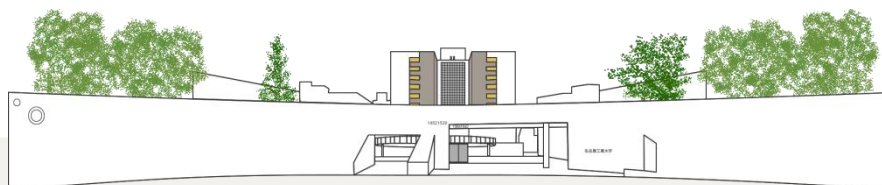


集計結果

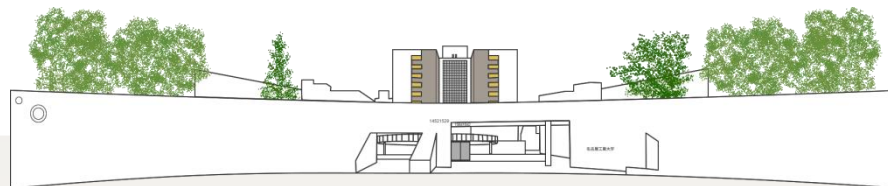
I. 名古屋工業大学との連携実績について、 <u>ここ3年間で</u> 、名古屋工業大学との連携について当てはまるものがあれば選んでください。 (複数回答可能)	回答数	%
1. 技術相談	39	23.8
2. 共同・受託研究	30	18.3
3. 学術・技術指導	10	6.1
4. 分析・評価、装置の利用	12	7.3
5. 社内人材の育成・講師派遣	9	5.5
6. 他の大学や公設試験場等と連携した	20	12.2
7. 過去にあるが、ここ3年はない	15	9.1
8. 一度もない	29	17.7
計	164	100.0



I-(1) 質問 I. の設問で、1~6を選択した場合、連携の成果について該当するものを選んでください。(①~③は、複数回答可能)	回答数	%
① 事業化・商品化・実用化につながった	13	15.1
② 設計・製造が始まった	8	9.3
③ 開発が始まった	21	24.4
④ 新しい研究テーマ、あるいは技術課題が生まれた、その場合、名工大との連携を予定されていますか。 A：名工大との連携を予定 B：名工大との連携は未定	14	16.3
	5	5.8
⑤ 自社のポテンシャルアップに寄与（上記①~④に該当しない場合）	17	19.8
⑥ 活用されなかった	8	9.3
計	86	100.0

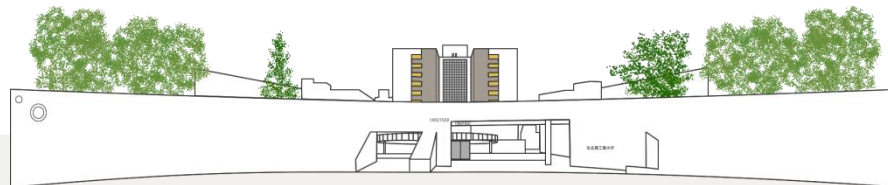


I.(2) 質問 I. の設問で、7. 及び8. とお答えになった方にお尋ねします。連携がなかった理由は何ですか。	回答数	%
① 魅力的な研究シーズが見つからなかった	1	2.2
② 自社のニーズに合う研究テーマが見つからなかった	31	68.9
③ 名工大の研究内容の詳細を把握できなかった	4	8.9
④ その他	8	17.8
未回答	1	2.2
計	45	100

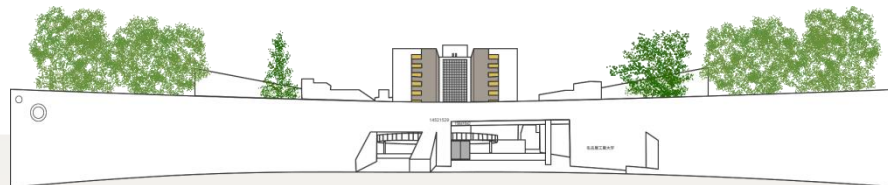


Ⅱ 名古屋工業大学の <u>研究段階</u> についてのイメージはつぎのうちどれですか。一つ選んでください。	回答数	%
① 製品化に近い研究をしている	15	12.8
② 技術開発に係わる研究をしている	73	62.4
③ 基礎的な研究をしている	21	17.9
④ その他	2	1.7
未回答	6	5.1
計	117	100

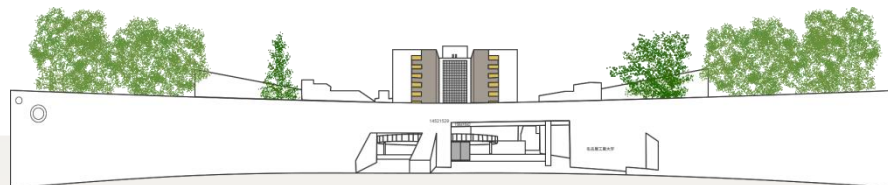
(注) 複数回答があったので、回答数の計が多くなっている。



Ⅲ 貴社が大学の研究を活用し、学術指導・共同研究等をする場合、最も重要視する点は何ですか。一つ選んでください。	回答数	%
① 製品化に近い研究をしている	35	30.2
② 技術開発に係わる研究をしている	62	53.4
③ 基礎的な研究をしている	12	10.3
④ その他	5	4.3
未回答	2	1.7
計	116	100



IV 名古屋工業大学からの研究シーズ、技術情報、研究内容のPRは十分だと思いますか。	回答数	%
A そう思う	85	73.3
B 不足していると思う	21	18.1
未回答	10	8.6
計	116	100



V 今後、産学連携を強化するために名古屋工業大学が強化すべきだと思ふ連携について、優先度の高い順に3つ選んでください。	回答数		
	優先度1.	優先度2.	優先度3.
A. 技術相談	23	12	17
B. 社会人のための人材育成プログラム	7	4	5
C. 分析・評価のための装置の利用促進	5	12	14
D. 学術・技術的な指導	4	12	12
E. 製品化に直結する研究	23	15	13
F. 技術的な研究	25	33	9
G. 基礎的な研究	14	8	7
H. 研究情報公開の活動促進	6	11	15
I. 弊社への研究者・産学連携コーディネータの訪問	1	3	6
J. 親しみやすさ	5	1	6
未回答	4	5	12
計	117	116	116

(注) 優先度1.について、複数回答があったので、回答数の計が多くなっている。

